



独立行政法人 労働者健康安全機構

**中国労災病院**

## 診療科・部門・センターのご案内



**2021 年 4 月**

中国労災病院 患者サポートセンター



## 病院長挨拶

病院長 栗栖 薫

皆様、こんにちは。中国労災病院長の栗栖 薫です。令和2年の4月に当院に赴任し、いろいろな意味で非常にダイナミックな1年を経験させて頂きました。

お祭しの通り、令和2年度は新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。しかし、いわゆるコロナ禍にあっても当院の本来の理念を忘れることなく対応した1年でもありました。そのような大変な状況の中でも、「少しでも前へ、少しでも高みへ」の気持ちを反映し、「より積極的に関わっていく」という姿勢を盛り込み、理念を令和3年1月にリセット致しました。従来の「患者中心の良質な医療と地域医療への貢献」から、“患者中心の良質な医療の提供と地域医療への貢献”に変更致しました。皆様、如何でしょうか？

また、「救急医療」、「高度専門的医療」、「周産期医療」を基本3本柱と位置づけ、実践しています。

**救急医療：**コロナ禍で救急患者さんの受け入れは、例年に比べてウォークインは約1000名、救急搬送は約500件減りましたが、令和2年度はそれぞれ8810人、3056人と合計約1万1千人に対応し、それぞれの18.3%、58.4%が入院加療されています。

**高度専門的医療：**高度な血管内治療を精度高く実施できるIVR-CT装置を最新鋭の機種に変更致しました。また、令和3年度中に、内視鏡治療室を改修・拡充し、鎮静下内視鏡処置も可能にする安静経過観察室も併設します。現在の年間7000件から9000件に対応可能な施設として生まれ変わります。

**周産期医療：**お産の後、少しゴージャスなまた温かみのあるお部屋で過ごして頂くためにお部屋をリニューアルしました。WiFi環境も整え、トイレも一新。すでにヤングママ達には大変好評を頂いています。また、非常に豪華な「祝い膳」も人気です。（これらの記事は、病院のホームページやツイッターでもみることが出来ます。下記のQRコードからお入り下さい。）

病院全体としての大きな変化は以上述べた通りです。各診療科、あるいは部門においても、「コロナ禍だからこそ出来る事」、「コロナ禍だからこそしないといけない事」を認識して積極的に「出来る事は行う」方針にて、日々研鑽しております。新しくなりました、各診療科のご案内をご覧ください。

地域の皆様に信頼され、「中国労災病院で診てもらって良かった」と言って頂けるように病院全体として取り組んで参ります。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

中国労災病院



中国労災病院  
Twitter





# 患者中心の良質な医療の提供と地域医療への貢献

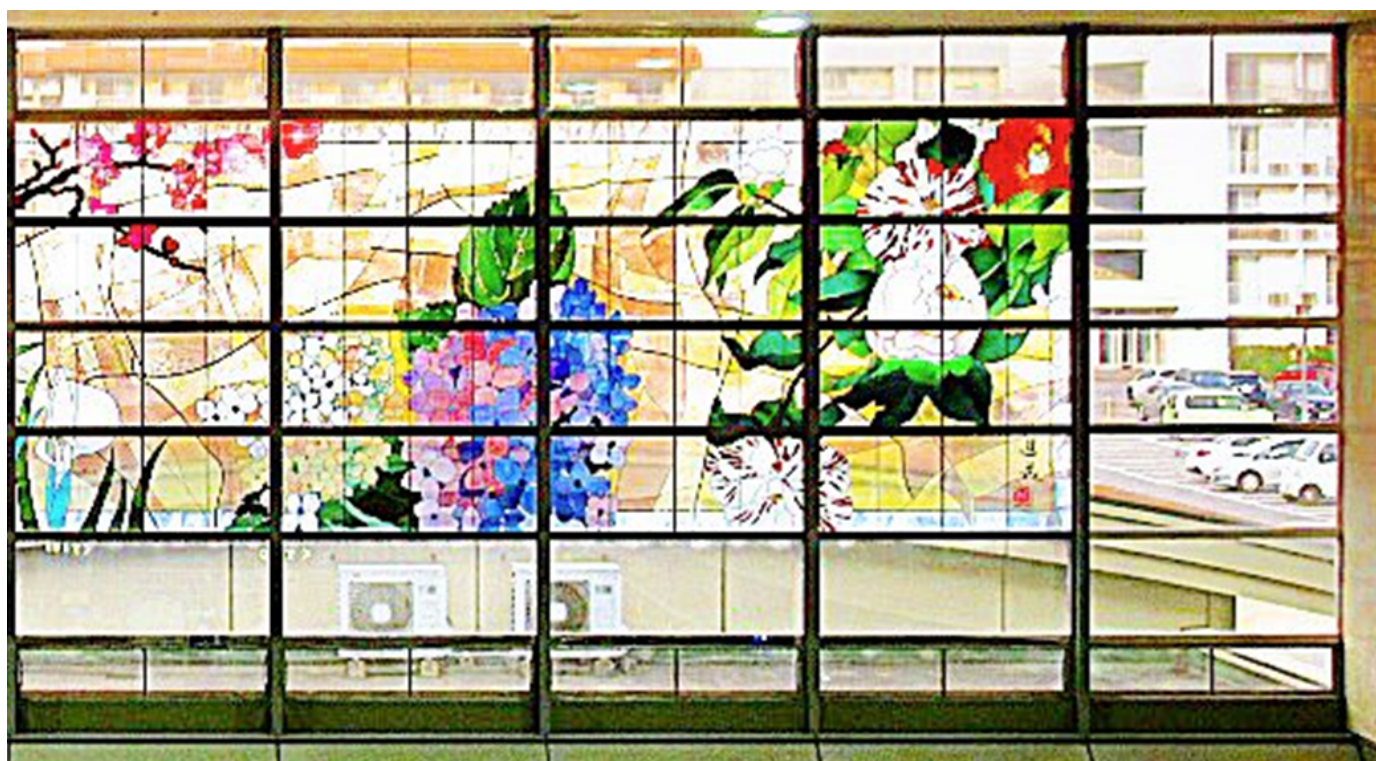
## 基本 方針

- ・ 個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- ・ 地域の医療機関と連携し、救急・急性期から慢性期までの一貫した医療を実施します。
- ・ 高度専門的な医療に基づいた勤労者医療を進めます。
- ・ 周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- ・ 優れた人材を育て、働きがいのある職場を作ります。

## 患者さんの権利

### 中国労災病院は患者さんの権利を尊重します

- 患者さんは人として尊重され、高度で良質な医療を受けることができます。
- 患者さんの医療情報など、個人のプライバシーは保護されます。
- 患者さんは自身の病状と検査・治療について十分な説明と情報提供を受けることができます。
- 患者さんは掲示された医療を「受ける」または「受けない」という選択ができます。
- 患者さんは病院を自由に選択でき、他院の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます。
- 患者さんは自身の診療情報の開示を求めることができます。



## ～ 目 次 ～

|               |     |
|---------------|-----|
| 病院長挨拶         |     |
| 循環器内科         | ①   |
| 消化器内科         | ②～③ |
| 呼吸器内科         | ④   |
| 代謝内分泌科        | ⑤   |
| 脳神経内科         | ⑥   |
| 小児科           | ⑦   |
| 外科            | ⑧～⑨ |
| 整形外科          | ⑩～⑪ |
| 脳神経外科         | ⑫   |
| 心臓血管外科        | ⑬   |
| 皮膚科           | ⑭   |
| 泌尿器科          | ⑮   |
| 産婦人科          | ⑯   |
| 耳鼻咽喉科         | ⑰   |
| リハビリテーション科    | ⑱   |
| 放射線科          | ⑲   |
| 麻酔科           | ⑳   |
| 救急部           | ㉑   |
| 歯科口腔外科        | ㉒   |
| 検査科           | ㉓   |
| 健康診断部         | ㉔   |
| 治療・就労両立支援センター | ㉕   |

# 循環器内科

地域の心臓救急に24時間の対応を行っています。

中国労災病院は広い診療圏を有し呉では一番救急患者を診ている病院です。我々は急性心筋梗塞を含む虚血性心疾患、心不全、不整脈、肺塞栓症、大動脈解離、心筋炎、高血圧緊急症等の循環器救急に対し、

- ・24時間体制の心臓カテーテル検査、治療
- ・血行動態破綻例に関してはIABP、ECMO、CHDF等の機械的補助使用
- ・常に救急医と連携した診療

にて対応しております。R3.4月からは循環器医が24時間交代で院内PHSを持つこととしより迅速に循環器救急に対応できるようになりました。

スタッフはR3.4月から大きな変更がありました。本藤部長、佐田、濱本が病院を変わり、新たに松田を部長とし渡、塩田、大江を加え循環器内科は橋本を合わせた5人体制となります。特に渡は土谷総合病院にてカテーテル治療専門医として活躍後赴任され、当院ではカテーテル治療のトップとして活躍しています。難治性の冠動脈疾患に関してもロータブレッターを含めた治療で対応、アンギオCTもR3.4月更新し下肢閉塞性動脈硬化症に対しても積極的にカテーテル治療を行います。

外来では経食道を含めた心エコー（R3.1月機器更新）、心臓CT、心臓MRI、心筋シンチ、CPXを含めた運動負荷、Holter ECG、植え込み型ループ心電計等で地域医療に貢献できると考えています。

またコロナ禍でサルコペニアの進行する方も多く、それも原因で心不全患者は急激に増えています。当院は心不全患者に対しても24時間循環器内科医が対応する数少ない病院と自負しています。加えて広島大学を中心とした心不全診療を多職種で進めていく『心臓いきいき事業』に当院は呉で唯一参加しています。多職種診療で入院中、退院後も含め心不全再発防止のためより包括的な医療ができるよう心掛けています。慢性心不全看護認定看護師、心臓リハビリテーション指導士を中心に包括的医療を行っています。また新たにR3.4月より心臓リハビリテーション上級指導士を迎え、より積極的に包括的心臓リハビリテーションを行っていく所存です。



マツダ ケイジ  
氏名 松田 圭司  
役職 循環器内科部長  
第二リハビリテーション科部長  
患者サポートセンター副室長

#### [専門分野]

虚血性心疾患  
冠動脈カテーテル治療  
高血圧、血管内超音波検査  
心臓リハビリテーション

#### [資格等]

日本内科学会認定内科専門医  
総合内科専門医  
日本循環器学会専門医  
心臓リハビリテーション指導士



ワタリ ユウイチロウ  
氏名 渡 雄一郎  
役職 第二循環器内科部長

#### [専門分野]

虚血性心疾患  
冠動脈カテーテル治療  
高血圧、血管内超音波検査  
末梢血管インターベンション

#### [資格等]

日本内科学会認定内科専門医  
総合内科専門医  
日本循環器学会専門医  
日本心血管インターベンション治療学会専門医



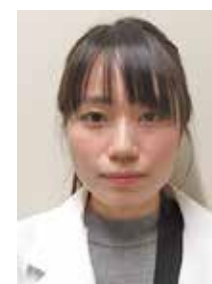
ハシモト ハルキ  
氏名 橋本 東樹  
役職 医長

#### [専門分野]

循環器、虚血性心疾患  
冠動脈カテーテル治療  
血管内超音波検査  
救急医療、高血圧、動脈硬化

#### [資格等]

日本内科学会認定内科医



シオハラ ハルコ  
氏名 塩田 日子  
役職 医師

#### [専門分野]

循環器、虚血性心疾患  
救急医療、内科全般  
心臓リハビリテーション

#### [資格等]

日本心血管インターベンション治療学会認定医  
日本内科学会認定内科医



オオエ ヒロシ  
氏名 大江 啓之  
役職 医師

#### [専門分野]

循環器、虚血性心疾患  
救急医療、内科全般



# 消化器内科・内視鏡科



モリヤ タカシ  
氏名 守屋 尚  
役職 消化器内科部長  
両立支援部長  
(がん分野)

[専門分野]

肝疾患  
ウイルス性肝炎、肝癌  
(RFA、TAE、動注)  
超音波診断

[資格等]

医学博士  
日本内科学会認定総合内科  
専門医・指導医  
日本肝臓学会専門医・指導医  
日本消化器病学会専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
両立支援部長(がん分野)  
広島大学臨床教授



オオヤ トシヒデ  
氏名 大屋 敏秀  
役職 内科部長  
健康診断部部長

[専門分野]

消化器、肝胆膵疾患  
消化器内視鏡  
コレステロール代謝  
(動脈硬化・胆石)

[資格等]

医学博士  
米国消化器学会メンバー  
日本消化器内視鏡学会  
専門医・指導医  
日本胆道学会指導医  
広島大学臨床教授



モウリ テルオ  
氏名 毛利 輝生  
役職 内視鏡科部長

[専門分野]

肝胆膵疾患  
膵がん・膵炎の診断と治療  
胆石の診断と治療

[資格等]

医学博士  
日本内科学会認定内科医  
日本消化器病学会専門医



クガ ヨシオ  
氏名 久賀 祥男  
役職 医長

[専門分野]

消化器疾患全般  
消化器領域のがん  
化学療法

[資格等]

医学博士  
日本内科学会認定総合内科専門医  
日本消化器病学会専門医・指導医



ミワ ノリヒロ  
氏名 実綿 倫宏  
役職 医長

[専門分野]

消化器・消化器疾患全般  
消化器早期癌に対する内視鏡治療

[資格等]

医学博士  
日本消化管学会暫定指導医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医

## 1. 診療科の特色

消化器内科では消化管、肝胆膵領域の疾患の診断と内科的治療とを行っています。質の高い診療を心がけており、全ての入院患者の診断および治療方針はカンファレンス(消化器内科のカンファレンスあるいは消化器外科との合同カンファレンス)により決めています。また、腹部救急症例の診断と治療に24時間対応しています。

### 1) 消化管

内視鏡診断については通常の観察に加えて、積極的に拡大観察を行い、また必要に応じて色素散布、細径プローブによる超音波内視鏡による観察を行い、正確な診断に努めています。また食道および咽頭・喉頭については全例でNBI(narrow band imaging)による観察もしています。内視鏡検査の画像は内視鏡学会専門医がチェックしています。

表在型食道癌、早期胃癌、早期大腸癌に対しては内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を、大腸ポリープに対しては粘膜切除術(EMR)を実施しています。また10mm以下の大腸腺腫病変に対して外来でのコールドポリペクトミーを積極的に行っています。(EMR、コールドポリペクトミーともに、可能な限り1度で全てを切除する方針としています)

検査、治療ともに内視鏡時に鎮静を積極的に行っており、できるだけ苦痛の少ない内視鏡を心がけています。

消化管出血に対しては休日、夜間を問わず常に緊急内視鏡検査および止血術を行う体制を整えています。

炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)に対しては5-ASA製剤、ステロイドに加えて生物学的製剤(インフリキシマブ、アダリムマブ、ゴリムマブ、ベドリズマブ、ウスティキマブ、トファシチニブ)を使用しています。また中等症以上の潰瘍性大腸炎に対しては顆粒球除去療法(GCAP)を行うことも可能です。

進行消化管癌に対しては、外科、放射線科とも連携し、手術、放射線、化学療法を行っています。悪性疾患に伴う消化管狭窄に対しては消化管ステント留置を実施しています。

脳卒中の後遺症などで経口摂取が困難な症例に対しては十分な説明と同意の上で胃瘻を造設しています。

### 2) 胆膵

胆膵領域については、膵癌や胆道癌などの悪性疾患から、急性膵炎や慢性膵炎、総胆管結石、急性胆管炎・胆嚢炎などの良性疾患まで多岐に診療しています。近年、高齢化と共に総胆管結石胆管炎の件数も増加しており、患者さんの負担ができる限り少なくなるよう緊急で内視鏡的胆管ドレナージなどの処置を行っております。急性胆嚢炎については外科と連携し、緊急手術や経皮経肝胆嚢ドレナージなどの治療を行っております。

切除不能な膵癌・胆道癌については、ステントを用いた減黄術や疼痛緩和治療と共に、在宅での療養ができるように外来化学療法を中心に行っております。膵癌や胆道癌は早期診断が難しく、CTやMRIなどの画像検査に加え、積極的にERCPや超音波内視鏡(EUS)による診断を行っております。早期癌発見のため、糖尿病の急激な悪化、腹部エコーで胆管膵管拡張や膵嚢胞などの異常がありましたら、ぜひお気軽にご紹介ください。

### 3) 肝臓

最近増加している脂肪肝(NAFLD/NASH)については、必要に応じて肝生検を行った後、線維化等の評価を行っています。また、4月からはShear Wave Elastography等の機能を持つ腹部エコーを導入しましたので、腹部エコー検査時に肝臓の線維化の程度も測定することが可能となっています。

B型肝炎あるいはC型肝炎については症例毎に最適な抗ウイルス療法を実施しています。B型肝炎、C型肝炎の症例あるいは線維化の進んだ脂肪肝症例につきましては、普段はかかりつけ医の先生で診ていただき、当院では腹部エコー等の定期的な画像検査を行うという形の病診連携を行っています。

肝細胞癌の診断・治療は放射線科と外科との連携しながら実施しています。肝細胞癌治療の柱の一つである肝動脈化学塞栓術については、2021年4月からIVR-CTが新しい装置に更新され、より精確で患者様への負担が少ない治療が可能となっています。

肝細胞癌は再発率が高いので、切除例についても、術後の follow up は消化器内科が行っています。定期的なきめ細やかな follow up を実施することにより、早期に再発を指摘し、ラジオ波焼灼/マイクロ波凝固等の低侵襲でより確実な治療を実施しています。この結果、当院で切除した肝細胞癌症例の5生存率は約80%、10年生存率も50%超と、非常に良好な成績が得られています。

食道静脈瘤症例に対してはEIS、EVLを行っています。破裂症例に対しては緊急EVLを実施し、待機症例については条件が良ければEISを選択しています。また破裂の危険性が高い胃静脈瘤に対してはB-RTOを行っています。

多くの連携医の先生方のご協力により肝疾患診療の病診連携ができており感謝しております。引き続き宜しくお願いいたします。

## 2. 診療科の主な実績（2019年度）

### 1. 消化管

|               |        |
|---------------|--------|
| 上部消化管内視鏡検査    | 4,953件 |
| 大腸内視鏡検査       | 1,989件 |
| 上部消化管超音波内視鏡検査 | 28件    |
| 胃/食道EMR       | 12件    |
| 胃/食道ESD       | 65件    |
| 大腸EMR         | 217件   |
| 大腸コールドポリペクトミー | 453件   |
| 大腸ESD         | 5件     |
| 大腸ステント留置      | 9件     |
| 上部消化管止血術      | 113件   |
| 下部消化管止血術      | 40件    |
| 胃瘻造設          | 43件    |

### 2. 胆膵

|           |        |
|-----------|--------|
| 腹部超音波検査   | 3,818件 |
| ERCP      | 383件   |
| EUS（胆膵領域） | 115件   |
| EUS-FNA   | 17件    |
| PTGBA     | 4件     |
| PTGBD     | 10件    |
| PTCD      | 6件     |

### 3. 肝臓

|                 |     |
|-----------------|-----|
| EIS             | 34件 |
| EVL             | 20件 |
| RFA             | 72件 |
| 肝生検             | 30件 |
| TAE             | 73件 |
| TAI             | 6件  |
| Lip-TAI         | 1件  |
| B-RTO           | 2件  |
| Plugによる脾腎シャント閉塞 | 2件  |



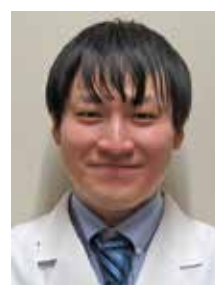
ハタ コウサク  
氏名 畑 幸作  
役職 院長  
[専門分野]  
消化管・消化器一般  
消化管早期癌の内視鏡治療  
[資格等]  
日本内科学会認定内科医  
日本消化器内視鏡学会専門医



キシ ユウタロウ  
氏名 岸 雄太郎  
役職 医師  
[専門分野]  
消化器疾患全般  
救急医学



シゲノブ シュウヤ  
氏名 重 信 修宇也  
役職 医師  
[専門分野]  
消化器疾患全般  
救急医学



コ ネ モリ タカヒロ  
氏名 小根 森 隆広  
役職 医師  
[専門分野]  
消化器疾患全般  
救急医学



カワハラ ミチヒコ  
氏名 河原 倫彦  
役職 医師  
[専門分野]  
消化器疾患全般  
救急医学

# 呼吸器内科



シオタ ナオキ  
氏名 塩田 直樹  
役職 呼吸器内科部長  
[専門分野]  
呼吸器全般、アレルギー  
気管支喘息  
びまん性肺疾患  
慢性呼吸不全  
睡眠時無呼吸症候群  
肺腫瘍  
[資格等]  
医学博士  
日本内科学会総合内科専門医  
日本アレルギー学会専門医  
日本呼吸器学会指導医  
日本呼吸器内視鏡学会専門医



アキタ シン  
氏名 秋田 慎  
役職 医長  
[専門分野]  
呼吸器全般、肺腫瘍  
[資格等]  
医学博士  
日本内科学会総合内科専門医  
日本呼吸器学会指導医  
日本呼吸器内視鏡学会専門医  
癌治療認定医



クロズミ サトシ  
氏名 黒住 悟之  
役職 医長  
[専門分野]  
呼吸器全般  
[資格等]  
日本内科学会認定内科医

## 1. 診療科の特色

呼吸器内科では、肺炎・気管支喘息・COPD など頻度の高い疾患から、肺癌・間質性肺炎など専門診療を必要とする疾患まで幅広く扱っています。

呼吸器内科では、気管支鏡検査を積極的に行っています。気管支鏡検査は呼吸器疾患を診断するための重要な検査です。超音波ガイドシース法、超音波ガイド下経気管支針生検も活用しています。今年から気管支ナビゲーションシステムを導入しました。検査で得られた結果は分かりやすく説明するよう心がけています。最近では当院で治療を受ける肺癌患者さんが増えています。安心して治療を受けて頂けるよう今後も取り組みます。

外来では、肺癌、喘息・COPD を診療する機会が多いです。肺癌治療では外来化学療法を受ける患者さんが増えました。喘息・COPD 患者さんには、呼気NO、気流制限の可逆性、末梢血好酸球を指標に有効な治療を探します。吸入薬、抗体製剤など幅広いニーズに応えられる体制を構築しています。

近隣医療機関との連携も大切にしています。必要に応じて、退院前カンファレンスやミーティングを行い円滑な連携を心がけています。

我々は、幅広い呼吸器疾患バランス良く対応し、皆様のお役に立ちたいと考えています。地域医療の拠点として信頼される呼吸器内科を今後も目指します。引き続きご指導ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 代謝内分泌科

## 1. 診療科の特色

下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎の機能異常に対する負荷試験を含めた検査、治療をはじめ、副腎腺腫などの内分泌疾患に対応が可能です。また、原発性アルドステロン症に対する二次スクリーニングを行なう事が可能です。

代謝疾患（糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、肥満症）については、動脈硬化合併症予防の観点から、食事・運動療法指導などを含む幅広い対応が可能です。

糖尿病は早期の教育がその後の治療に影響を及ぼすといっても過言ではありません。そのため、今後は糖尿病を発症してから時間がたっていない、理解力のある人に対しての、入院での糖尿病の教育に力を入れていく予定です。教育の内容としては栄養士による栄養指導を始め、看護師による日常生活の指導や理学療法士による運動療法の指導等です。

そのほか、患者さんの理解力に合わせた、入院での個別の教育や介護サービス等を利用した治療方針の見直し、入院での血糖コントロールを行なうなどの対応が可能です。

外来でのインスリン導入、自己血糖測定の導入も行なっております。

## 2. 診療科の主な実績

### 外来

2型糖尿病、1型糖尿病、妊娠糖尿病、低血糖

脂質異常症、肥満症、高尿酸血症、電解質異常

下垂体機能低下症

バセドウ病、慢性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症

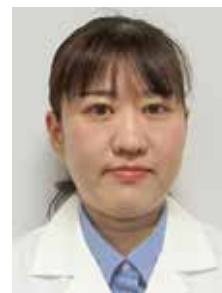
原発性副甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症

副腎腺腫、アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、副腎性器症候群、副腎機能低下症

### 入院

1型糖尿病、2型糖尿病、糖尿病性ケトアシドーシス、高血糖性高浸透圧性昏睡、副腎腫瘍

バセドウ病、甲状腺機能低下症



キシモト ルイ  
氏名 岸本 瑠衣  
役職 代謝内分泌科医長  
[資格等]  
代謝・内分泌、糖尿病  
[資格等]  
日本内科学会認定内科医



ミヤウチ アキラ  
氏名 宮内 晃  
役職 医長  
[資格等]  
代謝・内分泌、糖尿病  
甲状腺疾患  
[資格等]  
日本内科学会認定内科医  
・総合内科専門医  
日本糖尿病学会専門医・指導医

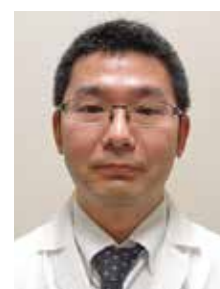
# 脳神経内科



キタムラ タケン  
氏名 北村 健  
役職 脳神経内科部長  
脳卒中科部長  
[専門分野]  
脳神経内科全般、脳卒中  
認知症、パーキンソン病  
[資格等]  
医学博士  
日本神経学会専門医・指導医  
日本内科学会認定内科医  
・総合内科専門医  
内科学会中国支部評議員  
JMECC インストラクター  
ICLS インストラクター  
日本脳卒中学会専門医・指導医  
日本認知症学会専門医  
広島大学臨床教授



フジイ ヒロキ  
氏名 藤井 裕樹  
役職 医長  
[専門分野]  
脳神経内科全般  
[資格等]  
医学博士  
日本内科学会総合内科専門医  
日本神経学会専門医  
日本脳卒中学会専門医



マツシマ ハヤト  
氏名 松島 勇人  
役職 医長  
[専門分野]  
脳神経内科全般  
[資格等]  
医学博士  
日本内科学会認定内科医  
日本神経学会専門医  
日本脳卒中学会専門医



タケナカ メグミ  
氏名 竹中 萌  
役職 医師  
[専門分野]  
脳神経内科全般

## 1. 診療科の特色

### 24 時間体制の神経救急への対応

24 時間 365 日、脳血管障害を中心とした神経救急への対応が可能です。脳神経内科医が診療にあたり、専門的なアセスメントを行います。頭部画像検査 (CT、MRI) は常に評価が可能で、脳梗塞については、t-PA 静注療法も常時対応可能です。

外来は、月曜～金曜日の毎日午前 2 名ずつが診療にあたっています。頭痛、めまい、しびれ、脳血管障害、パーキンソン病などの神経変性疾患、てんかん、神経免疫疾患など多様な神経疾患の診療にあたっています。

特にパーキンソン病については県内有数の患者が通院しており、運動症状のみならず非運動症状にも注目し、病初期からバランスのとれた診療にこころがけています。また、高齢化社会において患者数が著増している認知症については、従来から月曜、火曜に「物忘れ外来」として専門外来での診療をおこなっております。おもに診断や初期治療の導入等を目的とした外来をおこなっております。完全予約制で、家族などの同伴を条件としています。

## 2. 診療科の主な実績

令和 2 年度の入院患者数 414 名で、脳神経内科領域が 353 名、内科疾患が 56 名でした。脳神経内科領域の内訳では、脳血管障害は 242 名（虚血性脳血管障害は 236 名）、てんかん 30 名、パーキンソン病などの変性疾患 19 名、ギランバレー症候群などの神経免疫疾患 17 名、筋、末梢神経疾患 8 名、中枢神経感染症 7 名、腫瘍性疾患 5 名、代謝・中毒 4 名、頭痛めまいなどの機能的疾患 15 名などでした。多様な神経疾患に常時対応可能です。なかでも脳梗塞はここ数年呉医療圏で当科は脳梗塞患者を最も診療しております (DPC ベース)。

当科では 150 名以上のパーキンソン病患者が通院しており、県内有数です。MRI などの形態画像だけではなく、DAT SPECT や MIBG 心筋シンチの評価、嗅覚や認知機能の評価も可能です。治療については最新の治療薬をふくめた幅広い治療選択が可能であり、患者さんの病態、社会的背景に合わせた治療をこころがけています。例えば進行期は種々の治療法が存在しますが、当科ではレボドパ・カルビドパ経腸療法 (LCIG) を呉地区で最初に導入するなど幅広い治療選択が可能です。治験にも参加するなど、治療の発展への貢献にもこころがけています。

また、藤井医師を中心に、針筋電図、神経伝導検査、各種誘発脳波などの神経生理学的検査を随時行っており、筋力低下やしびれなどの感覚障害について、詳細な専門的病態評価が可能です。

# 小児科

地域に頼られる小児科と、安全なお産を保証する小児科を目指して。

## 診療体制

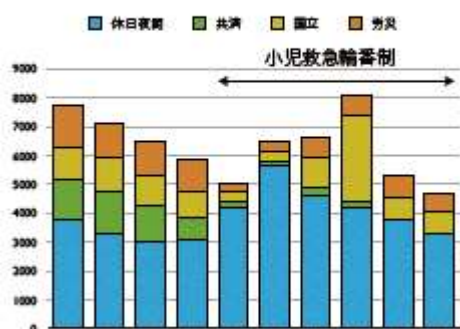
当院小児科は、常勤医師5名、非常勤医師2名、非常勤臨床心理士1名のスタッフで診療を行っております。午前中は感染症を中心とした一般外来、午後は乳児検診、予防接種、循環器・神経・腎・内分泌・アレルギーなどの専門外来を行っています。入院は朝夕にカンファレンスを行い、スタッフ全員がすべての患者を掌握するようにし、主治医のみに負担がかかりすぎることのないようチーム医療を行っています。

## 小児救急

どの地域でも小児科医師数は減少しておりますが、それに反して市民の小児救急へのニーズは高まる一方です。

これに対応するため呉地区では平成20年度より呉市医師会と二次医療圏内の公的病院が中心となって小児救急輪番制が導入されました。平日は19時から23時まで呉市医師会病院で小児夜間救急センターが開設され、医師会の先生および勤務医が交代で一次救急を行っております。さらに呉医療センター、呉共済病院、中国労災病院の3病院

図1 呉地区小児救急患者数の年次推移



(現在は呉医療センター、中国労災病院の2病院)が交代で二次救急に対応しています。23時以降は2病院で一次・二次救急対応を行っています。図1に示すように、輪番制度開始後、3病院の救急受診患者は減少しており、呉市医師会夜間救急センターが順当に機能していることが伺われます。

## 周産期医療

呉地区では平成20年に産科集約化が行われ、さきの3病院で行っていた分娩が呉医療センターおよび中国労災病院の2病院へ集約化されました。2020年度当院での分娩件数は371件でした。分娩数が増加すれば、どうしても早産や仮死などの異常分娩数も増加し、小児科管理となる新生児も増加します。中国労災病院では早産児は32～34週以降の児を主に取り扱い、ときに呼吸管理も行いながら、より重症の未熟児や重症仮死等は必要に応じて県内の総合周産期母子医療センター(県立広島病院、広島市民病院など)に母体搬送や新生児搬送をしています。小児救急を行いながらの周産期医療にはマンパワーの限界があり、無理して重症な症例を管理したために、児の転帰が悪かったのでは本末転倒です。集約化後の安全なお産をサポートすることが当院小児科に与えられた責務と考えております。



コニシ ナカオ  
氏名 小西 央郎  
役職 小児科部長  
[専門分野]  
小児科全般  
小児循環器疾患  
新生児疾患  
[資格等]  
小児科専門医  
小児循環器専門医  
BEAMS stage 1,2,3 取得  
インфекションコントロール  
ドクター



イワモト タカシ  
氏名 岩本 立  
役職 医長  
[専門分野]  
小児科全般、新生児疾患  
アレルギー、小児漢方  
小児糖尿病  
[資格等]  
小児科専門医



オノ ダイチ  
氏名 小野 大地  
役職 医長  
[専門分野]  
小児科全般  
[資格等]  
小児科専門医



カジマ リヒト  
氏名 梶間 理人  
役職 副医長  
[専門分野]  
小児科全般



イマオカ アリサ  
氏名 今岡 亜理紗  
役職 医師  
[専門分野]  
小児科全般



# 外科



フクダ トシカツ  
氏名 福田 敏勝  
役職 外科部長  
消化器外科部長  
救急部部長

[専門分野]

外科一般、胃外科  
肝胆膵外科、鏡視下手術  
鼠径部・腹壁ヘルニア

[資格等]

医学博士  
日本外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医・指導医  
日本消化器学会消化器病専門医  
日本肝胆膵外科学会評議員  
日本肝臓学会肝臓専門医  
日本透視医学会専門医  
日本がん治療認定医機構がん  
治療認定医  
日本消化器外科学会消化器がん  
外科治療認定医  
広島大学医学部臨床教授



タカハシ マモル  
氏名 高橋 護  
役職 乳腺外科部長

[専門分野]

乳腺外科、乳癌

[資格等]

日本乳癌学会乳癌認定医



フジサキ セイジ  
氏名 藤崎 成至  
役職 呼吸器外科部長

第三リハビリテーション科部長

[専門分野]

呼吸器外科、鏡視下手術  
消化器外科全般

[資格等]

医学博士  
呼吸器外科専門医  
日本外科学会外科専門医



オオイシ コウイチ  
氏名 大石 幸一  
役職 肝臓・胆のう  
・膵臓外科部長

[専門分野]

消化器外科全般、肝胆膵外科

[資格等]

医学博士  
日本外科学会外科専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医  
・指導医  
日本肝臓学会肝臓専門医  
日本肝胆膵外科学会評議員  
・高度技能専門医  
日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医  
日本消化器外科学会  
消化器がん外科治療認定医



サイトウ ヤスフミ  
氏名 齊藤 保文  
役職 医長

[専門分野]

下部消化管、内視鏡外科

[資格等]

医学博士  
日本外科学会外科専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医  
日本消化器外科学会消化器  
がん外科治療認定医  
日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医

## 1. 診療科の特色

地域の中核病院として、地域の皆様から頼られるよう、一般外科、胃外科、大腸外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺外科の各分野で専門性を追求し、良質な医療を提供できる体制を整えています。疾患別の責任者は、胃癌、ヘルニアが福田敏勝、大腸癌が齊藤保文と向井正一郎、肝・胆・膵が大石幸一、呼吸器が藤崎成至、乳腺が高橋護です。各臓器の癌に対して、手術、化学療法、放射線治療を合わせた集学的治療を関連科と協力して行っています。

外科手術は治療のためとはいえ患者に負担を強いる側面がありますが、治療の質を保った上で、鏡視下手術により少しでも安楽に治療を受けていただけるよう努力しています。2020年では手術の約56%で鏡視下手術を施行しています。

救急外科に関しましては、毎日急患待機の医師と手術待機の医師を決めて、24時間365日体制をとって、緊急手術の必要な患者に対応できるようにしています。緊急手術を施行した代表的な疾患として、2020年は、急性虫垂炎49件、急性胆嚢炎51件、腸閉塞17件でした。急性虫垂炎、急性胆嚢炎においても、基本的には鏡視下手術を施行し、術後疼痛の軽減、整容性への配慮、早期回復に努めています。

外科は、院内他科との連携はもとより、地域の先生方との連携が特に重要な科と考えます。地域の外科診療を支えられるチームとして、一層の研鑽を積み、地域医療に貢献していきたい所存です。

## 2. 診療科の主な実績

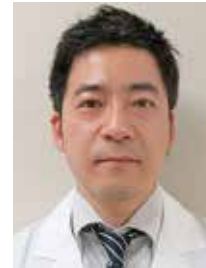
2020 年の総手術件数は 647 件で、鏡視下手術は 365 件（56%）、

緊急手術は 274 件（42%）でした。

| 疾患     |     | 手術件数 | 内視鏡下 |
|--------|-----|------|------|
| 食道     | 悪性  | 1    | 1    |
|        | その他 | 0    | 0    |
| 胃・十二指腸 | 悪性  | 40   | 19   |
|        | その他 | 10   | 5    |
| 肝・胆道   | 悪性  | 27   | 3    |
|        | その他 | 99   | 91   |
| 膵臓     | 悪性  | 8    | 0    |
|        | その他 | 3    | 3    |
| 小腸・結腸  | 悪性  | 48   | 38   |
|        | その他 | 42   | 8    |
| 直腸・肛門  | 悪性  | 35   | 29   |
|        | その他 | 6    | 1    |
| 腸閉塞    |     | 17   | 0    |
| 虫垂炎    |     | 49   | 47   |
| 副腎     |     | 0    | 0    |
| ヘルニア   |     | 92   | 64   |
| 甲状腺    |     | 0    | 0    |
| 乳腺     | 悪性  | 26   | 0    |
|        | その他 | 5    | 0    |
| 肺      | 悪性  | 23   | 20   |
|        | その他 | 5    | 0    |
| 縦隔     |     | 4    | 3    |
| その他    |     | 83   | 5    |
| 計      |     | 647  | 365  |



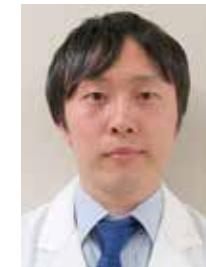
ムカイ ショウイチロウ  
氏名 向井 正 一 朗  
役職 医長  
[専門分野]  
下部消化管、内視鏡外科  
[資格等]  
医学博士  
日本外科学会外科専門医  
日本消化器外科学会専門医  
消化器がん外科治療認定医  
日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医



オキモト ショウ  
氏名 沖本 将  
役職 医長  
[専門分野]  
肝胆膵外科  
[資格等]  
医学博士  
日本外科学会外科専門医  
日本消化器外科専門医  
日本消化器外科学会  
消化器がん外科治療認定医  
日本肝臓学会認定肝臓専門医



ベッキ トモアキ  
氏名 別木 智昭  
役職 副医長  
[専門分野]  
外科一般  
[資格等]  
日本外科学会外科専門医  
日本消化器外科学会  
消化器がん外科治療認定医  
日本腹部救急医学会認定医  
マンモグラフィ読影認定医



ナンバ ヨウスケ  
氏名 難波 洋介  
役職 医師  
[専門分野]  
外科一般  
[資格等]  
日本外科学会外科専門医



タドロコ タケシ  
氏名 田所 剛志  
役職 医師  
[専門分野]  
外科一般

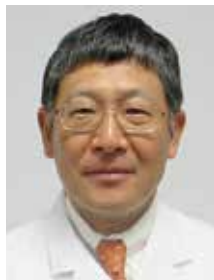
# 整形外科



マスダ ヤスジ  
氏名 益田 泰次  
役職 副院長  
[専門分野]  
関節外科(股、足)  
手の外科、腫瘍  
[資格等]  
医学博士  
日本整形外科学会専門医・指導医  
身体障害者判定医  
臨床研修指導医



フジモト エイサク  
氏名 藤本 英作  
役職 整形外科部長  
スポーツ整形外科部長  
人工関節センター長  
[専門分野]  
関節外科(膝、足)  
スポーツ整形  
[資格等]  
医学博士  
日本整形外科学会専門医・指導医  
中部整形外科学会災害外科学会評議員  
臨床研修指導医  
JOSKAS 評議員



ハマサキ タカヒコ  
氏名 濱崎 貴彦  
役職 脊椎・脊髄外科部長  
[専門分野]  
脊椎・脊髄外科  
骨粗鬆症  
[資格等]  
日本整形外科学会専門医・指導医  
日本整形外科学会脊椎脊髄病医  
・脊椎脊髄外科指導医  
日本骨粗鬆症学会認定医  
臨床研修指導医



ホリ ジュンジ  
氏名 堀 淳司  
役職 医長  
人工関節センター副センター長  
[専門分野]  
関節外科(股)、一般外傷  
[資格等]  
医学博士  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会脊椎脊髄病医



ナカサキ クランド  
氏名 中崎 蔵人  
役職 医長  
[専門分野]  
手の外科・一般外傷  
[資格等]  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定リウマチ医  
日本整形外科学会認定スポーツ医  
日本整形外科学会運動器  
リハビリテーション認定医



ナカムラ ヨシヒロ  
氏名 中邑 祥博  
役職 医長  
[専門分野]  
関節外科(肩)、一般外傷  
[資格等]  
医学博士  
日本整形外科学会専門医  
日本リハビリテーション医学会専門医

呉および周辺地域の救急医療の中心病院とし、長年にわたり重要な役割を担ってきましたが、運動器疾患のさまざまな専門分野の治療にも積極的に取り組んできました。この伝統は現在も継承しており、関節外科、脊椎・脊髄外科、手の外科など高度な技術や専門性をもつ、経験豊富な専門医がその治療にあたっています。

## 【外傷外科】

高次の救命救急に対応する当院では、労働災害や交通外傷などの重度外傷（骨盤外傷、脊髄損傷、多発骨折など）の頻度が高く、救急医や他科医師との連携のもとで迅速かつ適切な治療を行っています。実際に行ってきた治療実績は県内でもトップレベルにあります。

一方増加が著しい、骨粗鬆症を基盤とする高齢者骨折では、活動レベルの低下の防止と早期の機能回復を目指して、積極的に手術的治療を行っています。中でも最も頻度の高い大腿骨近位部骨折では、現在呉およびその周辺地域で地域連携パスを運用し、在宅復帰を目指した取り組みを行っています。また大腿骨近位部骨折同様、生命予後を大きく左右する脊椎圧迫骨折においても、再骨折の防止と機能障害の軽減を目的とした、連携治療（リエゾンサービス）の構築を現在検討中です。

## 【関節外科】

従来より頻度が高い変形性股関節症に加え、近年増加が著しい変形性膝関節症に対しても治療成績の向上と治療の集約化を目的として、平成 24 年 6 月人工関節センターを開設しました。安定した長期成績を目指して、人工股関節置換術(THA)では昨年より MIS-ALS（最少侵襲前外側進入法）を導入し、術後の筋力低下や脱臼の防止を図っています。一方人工膝関節置換術(TKA)では、後十字靱帯を温存し軟部組織を含めたギャップバランスに重点を置く、より生理学的な膝関節の再建を目指した手術法を行っています。THA、TKA とも現在県下でトップの症例数を誇っています（表 1）。

表 1 人工膝・股関節別手術総数





なお、若～壮年者の変形性関節症では、可能な限り関節を温存する各種の骨切り手術（寛骨臼回転骨切り術や高位脛骨骨切り術など）を適用し、長期にわたり注意深い経過観察を行っています。

また肩の腱板損傷や外傷後の習慣性脱臼、膝関節における靱帯（前十字、後十字靱帯）や半月板損傷に対する鏡視下手術を、経験豊富な専門医が行い良好な治療成績を残しています。

### 【脊椎・脊髄外科】

高齢化社会を反映し、生活習慣病である脊椎変性疾患の増加がみられています。頸椎部や腰椎部の脊柱管狭窄による神経障害のために、著しいADL障害を来した超高齢者（90歳を超える）の手術例も最近では稀でなくなっています。従来より行っている顕微鏡下での椎弓形成手術は低侵襲性で、術後数日で離床が可能となり、早期からリハビリテーションが開始されるため、寝たきりとなる高齢者はまれです。

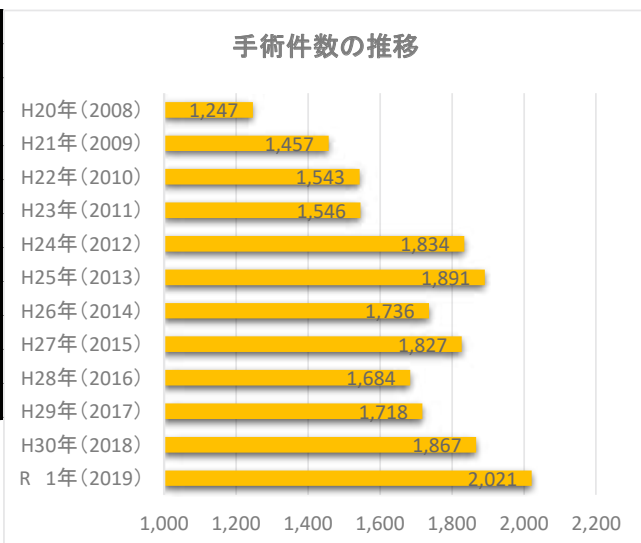
一方骨粗鬆症性脊椎骨折に対しては、装具などによる保存的治療を原則としてきましたが、経時的な椎体の圧潰の進行や偽関節に対しては本年より経皮的後弯矯正術（バルーンカイトフォブラスティ）を導入し、脊柱変形の矯正に取り組んでいます。手術は全身麻酔下で行いますが、出血は少なく手術も数十分で終了し、翌日より起立歩行が可能となります。疼痛の改善も顕著で、約1週間の機能訓練ののちに退院となります。

外傷をはじめとして各専門分野で経験する多くの貴重な症例に対して、治療成績向上のための定期カンファレンスや学会報告、論文発表にも努めています。表2に当科で施行した手術件数の年次的な変化を示しましたが、平成21年度以降、県内の関連病院下ではトップの手術件数です。

今後も地域の基幹病院として、スタッフ一同頑張りますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

表2 手術件数の推移

|            |       |
|------------|-------|
| H20年(2008) | 1,247 |
| H21年(2009) | 1,457 |
| H22年(2010) | 1,543 |
| H23年(2011) | 1,546 |
| H24年(2012) | 1,834 |
| H25年(2013) | 1,891 |
| H26年(2014) | 1,736 |
| H27年(2015) | 1,827 |
| H28年(2016) | 1,684 |
| H29年(2017) | 1,718 |
| H30年(2018) | 1,867 |
| R 1年(2019) | 2,021 |



スミダ ヨシカズ  
氏名 住田 佳應  
役職 医長  
[専門分野]  
一般外傷



イシバシ サオリ  
氏名 石橋 沙織  
役職 医師  
[専門分野]  
一般外傷  
[資格等]  
日本医師会認定健康スポーツ医



ツキサカ ジュンヤ  
氏名 月坂 純也  
役職 医師  
[専門分野]  
一般外傷



マツバラ ユウキ  
氏名 松原 佑貴  
役職 医師  
[専門分野]  
一般外傷



タナカ ユタカ  
氏名 田中 碩  
役職 医師  
[専門分野]  
一般外傷



ナガタ ヨシノリ  
氏名 永田 義紀  
役職 嘱託医師  
[専門分野]  
リハビリテーション  
関節外科、手の外科  
[資格等]  
医学博士  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定リウマチ医  
日本整形外科学会認定スポーツ医



ササヒゲ ヨシアキ  
氏名 笹重 善朗  
役職 嘱託医師  
検査科部長  
[専門分野]  
関節外科(膝、肘)  
スポーツ整形  
[資格等]  
医学博士  
広島大学医学部臨床教授  
日本整形外科学会専門医・指導医  
日本リハビリテーション医学会  
専門医・指導医  
日本体育協会公認スポーツドクター  
臨床研修指導医  
日本職業災害医学会  
中部整形外科学会災害外科学会評議員

# 脳神経外科



クリス カオル  
氏名 栗栖 薫  
役職 院長  
[専門分野]  
脳神経外科全般、脳腫瘍  
脳血管障害  
[資格等]  
広島大学名誉教授  
医学博士  
日本脳神経外科学会  
専門医・指導医  
日本脳卒中学会  
専門医・指導医  
日本救急医学会専門医



クマノ キヨシ  
氏名 熊野 潔  
役職 脳神経外科部長  
[専門分野]  
脳神経外科全般、脳卒中  
脳神経外科救急  
[資格等]  
日本脳神経外科学会専門医



ハシモト ナオミ  
氏名 橋本 尚美  
役職 第二脳神経外科部長  
第四リハビリテーション科部長  
[専門分野]  
脳神経外科全般、脳卒中  
脳神経外科救急  
[資格等]  
医学博士、産業医  
日本脳神経外科学会専門医  
日本脳卒中学会専門医  
日本頭痛学会専門医

## 1. 診療科の特色

脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍等の脳神経外科診療一般の内科的治療および外科的治療をしています。

約 30 年間、手術治療の安全性を上げるために術中にエコーや誘発電位等のモ  
わる検査技師、麻酔科医、手術部看護師の経験値の高さです。

## 2. 診療科の主な実績

令和 2 年度の当科入院患者は約 200 人。主な内訳は、手術不要な脳出血 38 人  
頭部外傷 36 人、慢性硬膜下血腫 34 人です。手術件数は、慢性硬膜下血腫が 52  
例、脳室ドレナージ 6 例、頭蓋内血腫除去 3 例、脳動脈瘤コイル塞栓 7 例、クリ  
ッピング 3 例、水頭症のシャント 4 例でした。入院患者数の割に全身麻酔下手術  
数が少なく、上記特色が十分に活かされてはいません。今後の課題です。

当科で治療困難な患者は他院脳外科へ紹介します。慢性期や終末期で当院対応  
困難な患者も他施設を紹介させて頂きます。今後ともよろしくお願い致します。

# 心臓血管外科

## 1. 診療科の特色

- 当科は心臓と血管の外科的治療を担当する診療科です。循環器内科や放射線科と協力して検査を行い、手術適応と判断した場合には加療を検討致します。冠動脈バイパス術、心臓弁膜症手術、胸・腹部大血管手術を検討します。
- 末梢血管疾患に関しては、動静脈にかかわらず直接当科へ紹介して頂き、薬物療法・カテーテル療法・手術療法のうち適切な治療を行います。下肢閉塞性動脈疾患へのバイパス手術や血管形成術、深部静脈血栓症の診断と加療を行います。
- 循環器内科の診断のもとに、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植込み手術を行っています。



スエシロ マサフミ  
氏名 季白 雅文  
役職 心臓血管外科部長  
[専門分野]  
心臓血管外科手術  
冠動脈バイパス術  
心臓弁膜症手術  
胸部・腹部大血管手術  
末梢血管手術  
(ペースメーカー手術)  
[資格等]  
医学博士  
日本胸外科学会認定医  
日本外科学会専門医



サカイ ヒロシ  
氏名 酒井 浩  
役職 第二心臓血管外科部長  
[専門分野]  
心臓血管外科手術  
[資格等]  
日本外科学会専門医  
日本救急医学会救急専門医



# 皮膚科



ホリ イクコ  
氏名 堀 郁子  
役職 皮膚科医長  
[資格等]  
皮膚科一般



ナカノ フミ  
氏名 中野 芙美  
役職 医師  
[資格等]  
皮膚科一般

## 1. 診療科の特色

皮膚科で扱う疾患は、炎症性疾患から感染症、母斑症、腫瘍、遺伝性疾患など極めて広い分野にわたり、その対象年齢層も乳幼児から高齢者にわたります。当科の特徴としては、アトピー性皮膚炎、水疱症、また血管炎などの炎症性疾患から、有棘細胞癌、基底細胞癌などさまざまな皮膚悪性腫瘍に至るまで、幅広い専門領域を有していることがあげられます。また外傷後の皮膚欠損や熱傷など形成外科分野の疾患にも積極的に取り組んでおり、手術件数が多いことがあげられます。

## 2. 診療科の主な実績

外来診療においては感染症からアレルギー疾患、皮膚腫瘍まで多様な分野に対応しています。午前中の診察時間内は随時受け付けております。また時間外でもご一報頂けば可能な限り対応致します。

午後の外来検査は皮膚生検やパッチテスト、プリックテストなどさまざまな検査を行っています。

特殊治療としては乾癬や尋常性白斑などに対する光線療法、疣贅や脂漏性角化症などの小腫瘍に対する液体窒素による凍結療法、難治性潰瘍や褥瘡に対する局所陰圧閉鎖療法を行っています。

手術は良性腫瘍、悪性腫瘍共に日帰り手術、広範囲もしくは植皮術などが必要な場合は入院手術を行っています。

## 泌尿器科

時代に即し、診断から治療まで完結型の高度医療を提供します。

近年、生活様式の欧米化や診断技術の向上などにより前立腺癌が増えています。初期の前立腺癌は無症状で、早期発見のためには PSA 検査が重要です。PSA が高値であれば、MRI にて腫瘍性病変の検索を行い、前立腺針生検にて確定診断をします。転移がない前立腺癌に対しては、根治を目指して腹腔鏡下前立腺全摘除術を積極的に行っています<sup>1)</sup>。

過活動膀胱は、尿意切迫感や切迫性尿失禁などの症状を呈する疾患です。治療の主体は薬物療法ですが、無効または使用できない患者さんに対して「ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法」が 2020 年 4 月新たに保険適応となりました。当院も県内でいち早くボツリヌス療法を導入しています<sup>2)</sup>。

尿路結石症の破碎治療には、体外衝撃波結石破碎術(ESWL)や経尿道的レーザー結石破碎術(TUL)があります。TULでは、高度な尿管鏡操作を駆使して完全除石を実現しています<sup>3)</sup>。

細菌性尿路感染症では、抗菌薬による迅速な経験的治療とドレナージの判断が重要です。当院には感染症のスペシャリストがおりますので、お任せください<sup>4)</sup>。



1)腹腔鏡下前立腺全摘除術の手術風景です。専用メガネをかけて3Dテレビモニターを見ながら繊細で緻密な手術を行っています。当院は、腹腔鏡技術認定の指導医2名を有し、腎尿管・膀胱・前立腺悪性腫瘍全ての腹腔鏡手術が可能です。



2)「ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法」は、膀胱鏡を用いて膀胱の筋肉にボツリヌス毒素を注射する治療法です。膀胱局所麻酔で 20 箇所注入し、手術時間は 20 分程度です。

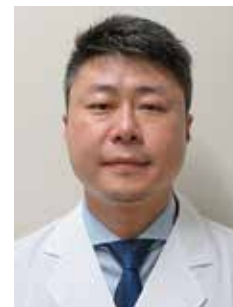


3)TUL は県内トップクラスの症例数(年間約 50～60 件)です。



氏名 コバヤシ カナオ 小 林 加直  
役職 泌尿器科部長  
[資格等]

医学博士  
日本泌尿器科学会専門医・指導医  
日本泌尿器内視鏡学会総経歴  
技術認定医  
日本内視鏡外科学会技術認定  
泌尿器科領域  
日本泌尿器内視鏡学会評議員  
泌尿器科領域における周術期感染予防  
ガイドライン作成委員  
泌尿器科感染制御ガイドライン作成委員  
三学会（日本化学療法学会・日本感染症  
学会日本臨床微生物学会）  
合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員  
（尿路感染症）  
日本性感染症学会認定医  
インフェクションコントロールクター  
Doctor of Doctors Network  
優秀専門臨床医 2019-2022  
広島大学医学部臨床教授



シゲマツ ヨシノリ  
氏名 重松 慶紀  
役職 医長  
[資格等]

医学博士  
日本泌尿器科学会専門医・指導医  
日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡  
技術認定医



氏名 キリシマ フミアキ 桐島 史明  
 役職 医師  
 [専門分野]  
 泌尿器科一般

4)「泌尿器科感染制御ガイドライン」(2021 年発刊)の作成  
委員を小林が担当しています。また、「泌尿器科領域にお  
ける周術期感染予防ガイドライン」(2015 年)の作成に引  
き続いて、2021 年から始まる改訂も担当しています。

# 産婦人科



フジワラ ヒサヤ  
氏名 藤原 久也  
役職 副院長  
[専門分野]  
婦人科腫瘍・周産期医療  
産婦人科疾患全般  
[資格等]  
医学博士  
日本産婦人科学会専門医・指導医  
日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医  
日本女性医学会認定女性ヘルスケア  
暫定指導医  
子宮頸癌治療ガイドライン作成委員  
子宮体がん治療ガイドライン作成委員  
ドクターオブドクターズネットワーク  
優秀専門臨床医  
Best Doctors  
母性保護法指定医  
American Society of Clinical  
Oncology(ASCO)正会員  
婦人科悪性腫瘍研究機構正会員  
臨床研修指導医  
かかりつけ医認知症対応力向上  
研修終了  
JOGa 器質性月経困難症に対する  
適正なホルモン療法等に係る研修終了  
International Cancer Conference  
Journal Reviewer



ウラベ リエ  
氏名 卜部 理恵  
役職 医長  
[専門分野]  
産婦人科疾患全般  
[資格等]  
医学博士  
日本産婦人科学会専門医・指導医  
日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医  
日本臨床細胞学会細胞診専門医  
日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医  
JOGa 器質性月経困難症に対する  
適正なホルモン療法等に係る研修終了



エノキノノ ユウカ  
氏名 榎園 優香  
役職 医師  
[専門分野]  
産婦人科疾患全般



ミヤオカ アイ  
氏名 宮岡 愛  
役職 医師  
[専門分野]  
産婦人科疾患全般



カツベ ヤスヒロ  
氏名 勝部 泰裕  
役職 嘱託医師  
[専門分野]  
婦人科腫瘍・周産期医療  
産婦人科疾患全般  
[資格等]  
医学博士  
日本産科婦人科学会専門医・指導医  
日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医  
日本臨床細胞学会細胞診  
専門医・指導医  
母性保護法指定医  
臨床研修指導医

『医療に厳しく、患者さんにやさしく』を心に銘じ、産科と婦人科の医療を行っています。

産科は正常な妊娠や分娩の管理はもちろんのこと、ハイリスク妊娠と呼ばれる妊娠前から病気を持った妊婦さんや妊娠中に異常な状態となった妊婦さんにも対応して、安全・安心な分娩を行っています。助産師外来を行うことで、妊娠中から助産師が関わり、希望に沿った快適な分娩を行えることを目指しています。また、産褥期にも母乳や体調の変化などのケアに力を注いでいます。

婦人科は、妊娠や分娩に関連する子宮、卵巣、卵管、膣、外陰にできる病気を診断・治療します。悪性腫瘍は、専門医を中心に最新の情報を取り入れて、初期癌には機能を温存する治療も考慮し、進行したがんには手術療法、化学療法、ホルモン療法、放射線療法などを組み合わせた集学的治療を行います。在宅緩和医療も、地域の先生方と連携をとりながら行っています。また、良性腫瘍や性器脱、感染症、子宮内膜症、更年期障害、月経困難症および月経不順などの治療を行います。

## 1. 診療科の特色

### ①婦人科腫瘍

3人の婦人科腫瘍専門医を中心に、エビデンスに基づきかつ個々の状態や希望を配慮して、方針を検討する。

婦人科腫瘍専門医が複数人在籍する施設は少ない。

### ②周産期医療

母体あるいは児の理由で、1秒でも早く娩出が必要な時に行う大緊急帝王切開は、決定から30分以内に児が娩出できるような体制を、病院全体で構築している。定期的に模擬訓練を行い、見直しをして、改善を行っている。

## 2. 診療科の主な実績

### 手術件数

|       |      |
|-------|------|
| 2018年 | 316件 |
| 2019年 | 283件 |
| 2020年 | 268件 |

### 分娩件数

|       |      |
|-------|------|
| 2018年 | 498件 |
| 2019年 | 437件 |
| 2020年 | 398件 |

# 耳鼻咽喉科

## 1. 診療科の特色

ほとんどの耳鼻咽喉科疾患（気道緊急、鼻出血、異物などの救急疾患を含む）に対応可能です。ただし一部の当科で対応困難な疾患は、対応可能な病院へ紹介いたします。

指定医師による身体障害診断書、補聴器相談医による補聴器適合に関する診療情報提供書、難病指定医による診断書の作成が可能です。

平成 30 年から補聴器購入者が医療費控除を受けることができます。そのためには補聴器相談医が「補聴器適合に関する診療情報提供書」を記入することが必要です。補聴器をご希望の方には、ぜひ耳鼻咽喉科の受診をお勧めください。

また下記の治療を行っております。

### ○アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）に対する治療

鼻閉などの鼻症状は、長年悩んでおられる方も多く、改善すると非常に楽になります。

薬物療法で改善の乏しい場合、薬物療法を希望しない場合には、免疫療法、手術療法があります。

当科では舌下免疫療法と、下の 2 つの手術療法を行っています。

- ・CO2 レーザー手術：日帰り、局所麻酔で行います。鼻閉症状の改善や、花粉症飛散前に施行することより、花粉症症状を軽く済ませることができます。
- ・粘膜下鼻甲介切除術：入院して、全身麻酔で行います。鼻閉症状が強い場合には、CO2 レーザー手術より本手術をお勧めします。併せて鼻中隔彎曲症の手術をおこなうことがあります。

### ○誤嚥防止手術

呼吸道と食物道を分離することにより、誤嚥をしなくなる手術です。ただし、永久気管孔となり発声できなくなり、経口摂取を保証するものではありません。適応は、

- 1) 誤嚥による誤嚥性肺炎の反復がある、またはその危険性が高い、2) 嚥下機能の回復が期待できない、3) 構音機能や発声機能がすでに高度に障害されている、4) 発声機能の喪失に納得している場合となります。症例を選べば非常に有用な手術ですので、適応かどうか迷われるようでしたら、一度ご相談ください。本人様及びご家族に説明し、適応かどうか判断いたします。



オガワ トモユキ  
氏名 小川 知 幸  
役職 耳鼻咽喉科部長  
[専門分野]  
耳鼻咽喉科全般  
[資格等]  
日本耳鼻咽喉科学専門医  
補聴器相談医



タケウチ ヤスハル  
氏名 武内 康 治  
役職 医長  
[専門分野]  
耳鼻咽喉科全般  
[資格等]  
日本耳鼻咽喉科学専門医

## 2. 診療科の主な実績

2020 年度の主な手術実績は以下の通りです。

内視鏡下鼻副鼻腔手術 44 件、扁桃摘出術 36 件、喉頭微細手術 10 件、気管切開 13 件、耳下腺腫瘍摘出術 4 件、頸部郭清術 1 件、深頸部膿瘍切開術 1 件、誤嚥防止手術 1 件等。



# リハビリテーション科



マサダ ヤスジ  
氏名 益田 泰次  
役職 副院長  
第一リハビリテーション科部長  
[専門分野]  
運動器リハビリテーション担当医  
関節外科(股、足)  
手の外科、腫瘍  
[資格等]  
医学博士  
日本整形外科学会専門医・指導医  
身体障害者判定医  
臨床研修指導医



マツダ ケイジ  
氏名 松田 圭司  
役職 第二リハビリテーション科部長  
循環器内科部長  
[専門分野]  
心大血管リハビリテーション担当医  
[資格等]  
日本内科学会認定内科専門医  
総合内科専門医  
日本循環器学会専門医  
心臓リハビリテーション指導士  
心臓いきいきセンター



フジサキ セイジ  
氏名 藤崎 成至  
役職 第三リハビリテーション科部長  
呼吸器外科部長  
[専門分野]  
呼吸器外科、鏡視下手術  
消化器外科全般  
[資格等]  
医学博士  
呼吸器外科専門医  
外科専門医



ハシモト ナオミ  
氏名 橋本 尚美  
役職 第四リハビリテーション科部長  
第二脳神経外科部長  
[専門分野]  
脳血管疾患等リハビリテーション担当医  
[資格等]  
医学博士、産業医  
日本脳神経外科学会専門医  
日本脳卒中学会専門医  
日本頭痛学会専門医



ナガタ ヨシノリ  
氏名 永田 義紀  
役職 嘱託医師  
[専門分野]  
運動器リハビリテーション担当医  
[資格等]  
医学博士  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定リウマチ医  
日本整形外科学会認定スポーツ医



ササシंगा ヨシアキ  
氏名 笹重 善朗  
役職 嘱託医師  
[専門分野]  
関節外科(膝、肘)  
スポーツ整形  
[資格等]  
医学博士  
広島大学医学部臨床教授  
日本整形外科学会専門医・指導医  
日本リハビリテーション医学会  
専門医・指導医  
日本体育協会公認スポーツドクター  
臨床研修指導医  
日本職業災害医学会  
中部整形外科学会災害外科学会評議員

発症から間もない急性期より、心大血管、運動器、呼吸器において、専門の医師やスタッフが、社会復帰、職場復帰、家庭復帰を目指して応援します。とくに「働く人々の健康を守る」ことを責務とする当院では、職場復帰を目指す方々に対して、退院後もリハビリに関する相談をお受けしています。またがんリハビリテーションにも積極的に取り組んでいます。

## スタッフ

常勤医 4 名、理学療法士 16 名、作業療法士 7 名、言語聴覚士 2 名、看護師 1 名、助手 1 名で構成されており、全員で協力して患者さんの早期社会復帰のお手伝いをさせていただきます。

医師：疾病の診断および障害の評価を行い、リハビリテーション治療計画を作成します。また治療に必要な義肢装具の処方、障害認定などを行います。

理学療法士 (PT)：運動療法により身体機能や日常生活動作能力の改善を図ります。

手術前後の呼吸理学療法や脳卒中に対する超早期の理学療法にも力を入れています。

作業療法士 (OT)：発症直後から対象患者の考える力・感じる力に対してアプローチを行い、脳の廃用予防に努めます。また上肢の機能回復および日常生活動作練習に取り組み、早期社会復帰を目指します。

言語聴覚士 (ST)：失語症、構音障害等のコミュニケーション障害に対する訓練・指導や、摂食嚥下障害に対するアプローチ等を行います。

心臓リハビリテーション：医師・看護師・理学療法士の監視の下、急性心筋梗塞、心臓手術後などの持久力改善・再発予防のために、自転車エルゴメーター等を用いて行います。

## リハビリテーション科の実績

### 入院リハビリ新規患者数

|               | 2017 年 | 2018 年 | 2019 年 | 2020 年 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 心大血管リハビリテーション | 206    | 176    | 256    | 228    |
| 脳血管リハビリテーション  | 447    | 474    | 453    | 447    |
| 運動器リハビリテーション  | 1,235  | 1,228  | 1,303  | 1,252  |
| 呼吸器リハビリテーション  | 272    | 269    | 256    | 243    |

### 地域クリニカルパス使用件数

|                | 2017 年 | 2018 年 | 2019 年 | 2020 年 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 大腿骨頸部骨折クリニカルパス | 112    | 132    | 112    | 83     |
| 脳卒中クリニカルパス     | 109    | 122    | 121    | 105    |

### 資格・認定取得者

日本リハビリテーション医学会専門医：1 名、指導医：1 名

心臓リハビリテーション上級指導士：1 名、心臓リハビリテーション指導士：2 名

専門理学療法士：2 名、認定理学療法士：3 名、認定作業療法士：1 名、呼吸療法認定士：7 名、糖尿病療養指導士：1 名、心不全療養指導士：1 名、日本ハンドセラピィ SWT:1 名、職業適応援助者養成講習受講者：1 名、がんのリハビリ研修受講者：11 名、臨床実習指導者研修受講者：3 名

# 放射線科

## 1. 診療科の特色

●肝臓の多い広島県内でも5台しかないIVR-CTをいち早く14年前から保有し、肝臓内科との連携により、精度の高い肝臓治療が可能となり、全国でトップレベルの生存率を達成しています。2020年度に最新の機器に更新し、さらに高精度、低被曝のIVRが可能となりました。

●2019年度から、画像をオンラインで参照できるシステムを導入し、24時間365日、交代で待機をして、迅速な治療に結びつくよう、臨床現場からの電話相談に対応しています。

●CT、MRI、核医学、骨密度測定、単純写真について、院外からの依頼に柔軟に対応しています。

## 2. 診療科の主な実績

2020年度は、CTが16,647件、MRIが7,049件、核医学が313件、IVRが150件(うち肝臓癌は76件)(2か月間は工事中につき10か月分)、放射線治療が110件です。肝臓癌の治療件数は、広島県内でもトップクラスです。



スミダ  
氏名 隅田 ますみ  
役職 放射線科部長  
[専門分野]  
画像診断  
[資格等]  
日本医学放射線学会  
放射線診断専門医  
日本核医学会核医学専門医  
PET 核医学認定医  
マンモグラフィ読影指導医  
肺がん CT 検診認定医  
日本医師会認定産業医



タチカケ トシヒロ  
氏名 太刀掛 俊浩  
役職 医長  
[専門分野]  
画像診断  
[資格等]  
日本医学放射線学会  
放射線診断専門医  
PET 核医学認定医  
日本 IVR 学会専門医



コダマ ヒサユキ  
氏名 児玉 久幸  
役職 医長  
[専門分野]  
画像診断  
[資格等]  
日本医学放射線学会  
放射線科専門医



ウエダ マサトモ  
氏名 植田 真智  
役職 医師  
[専門分野]  
画像診断、低侵襲性治療

# 麻酔科



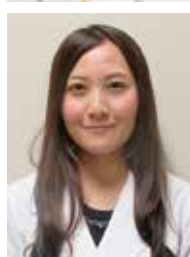
ヒダカ ショウゾウ  
氏名 日高 昌三  
役職 麻酔科部長  
医療安全管理室室長  
[資格等]



オカダ ヨシナリ  
氏名 岡田 泰典  
役職 第二麻酔科部長  
[資格等]



コガ トモチ  
氏名 古賀 知道  
役職 医長  
[資格等]



イシバシ アヤカ  
氏名 石橋 彩花  
役職 医師



ナカガワ アヤ  
氏名 中川 亜耶  
役職 医師



シミズ ミウ  
氏名 清水 美羽  
役職 医師



キド ヒロユキ  
氏名 木戸 裕之  
役職 医師



ナカガワ イツオ  
氏名 中川 五男  
役職 嘱託医師  
院長補佐  
[資格等]

医学博士  
日本救急医学会救急専門医  
救急医学会 ICLS インストラクター  
日本 DMAT 隊員統括 DMAT  
日本麻酔学会麻酔指導医  
日本麻酔学会中国四国地方会  
代議員  
日本ペインクリニック学会  
ペインクリニック専門医  
日本ペインクリニック学会  
中国四国地方会代議員  
広島県メディカルコントロール  
協議会部会委員  
呉市災害医療コーディネーター  
呉市災害医療委員会委員  
日本職業災害医学会評議員  
広島県院内移植コーディネーター  
広島大学医学部救急科臨床教授

麻酔医師の感性と豊かな人間性が、穏やかな周術期をお約束します。

手術室では手術を受ける患者さんに生理学的、薬理学的的方法による制御学を実践することで全身管理を行い、ペインクリニック外来では難治性疼痛に苦しむ患者さんの疼痛管理を行っています。現在8名のスタッフで診療にあたっています。麻酔の概念が、単純に『痛みと意識をとること』から手術中の侵襲や麻酔そのものによる影響で、『生命維持に必要な神経、循環、呼吸、代謝などの機能を保ちながら、刻々と変わる患者さんの状態をいかに制御するか』というものになってきました。各麻酔科医は鋭い感性で患者さんの制御を行うのみならず、手術室ではその進行に中心的な役割を果たし、あらゆる制御学を実践しています。各種モニターによる客観的なデータと各スタッフの経験の融合がより安全な麻酔管理の実践を可能にしています。

ここ20年の間に短時間作用性の静脈麻酔薬を中心とした麻酔方法が確立された感がありました。術中に使用される筋弛緩薬に対する強力な拮抗薬の出現は、麻酔導入時の安全性、術後呼吸抑制に対する安全性を格段に向上させました。更に最近では、超短時間作用型のベンゾジアゼピン系の静脈麻酔薬が発表されたことで、今後の麻酔薬の組み合わせにも今まで以上に幅が広がる可能性があり、麻酔薬の進化にも目が離せません。

一生のうちに何度あるか無いかの重大イベントである手術に対して、各麻酔科医の技量もさることながら、豊かな人間性が、術前には『穏やかな気持ちで手術に臨む』ことを可能にし、術後には『術前と何ら変わりのない意識で、痛みのない日々』を手助けすることをお約束いたします。

麻酔科は手術室での麻酔管理とペインクリニック外来が大きな柱ですが、当麻酔科は40年以上前から集中治療室や救急外来においても制御学を実践し、集中治療医学や救急医学を併せて学び経験することで、技量や知識に長け、懐の深い麻酔科医の育成に力を入れています。

下記表のように、年間3500件前後の手術に対して、麻酔科が管理を行う手術は約2500件、そのうち全身麻酔管理手術は約1500件です。新型コロナウイルス感染症により昨年度は減少が際立っていました。

過去5年間の手術・麻酔件数の推移

|         | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全手術件数   | 3376   | 3477   | 3513   | 3341   | 3235   |
| 麻酔科管理件数 | 2448   | 2492   | 2501   | 2563   | 2427   |
| 全身麻酔件数  | 1419   | 1394   | 1439   | 1500   | 1649   |
| 緊急手術件数  | 315    | 318    | 396    | 409    | 412    |

ペインクリニック外来は週4日（月・火・木・金）午前中に開き、急性痛、慢性痛などあらゆる痛みに対して、各種神経ブロックや薬物を中心とした治療を行っています。帯状疱疹や外傷などに起因する神経障害性疼痛、腰背部痛、各種関節痛、三叉神経痛、などの痛みを皮膚科、整形外科、耳鼻科、脳神経外科と連携して診療にあたっています。年間、初診患者は80-100人、再診患者数は1,200-1,400人です。

曜日毎に外来担当者が異なりますが、地域医療連携室を通じて患者さんが来られやすい曜日をご紹介します。

| 曜日   | 月  | 火  | 水 | 木  | 金  |
|------|----|----|---|----|----|
| 担当医師 | 中川 | 岡田 | - | 日高 | 古賀 |



# 救急部

## 1. 診療科の特色

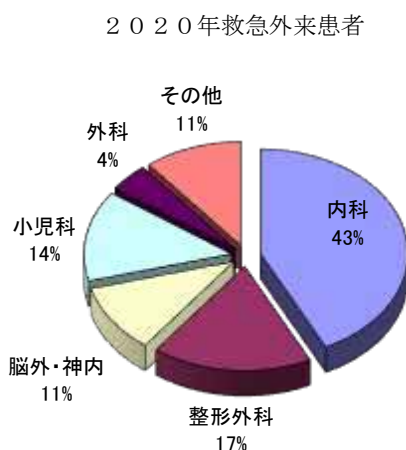
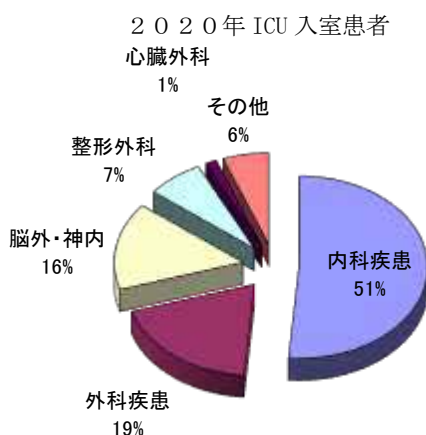
当院では、年間 1.4 万人前後の救急患者が救急外来を訪れます。これに対し、ICU・救急医療を専門に対応する常勤救急専門医 1 名と麻酔科医師 1 名、それに加え隔日で救急専門応援医師が日勤帯の救急患者初療と ICU に入室している重症患者の管理を行います。時間外勤務帯には、内科系、外科系、小児科、ICU 医師の 4 人体制で当直を行ない、さらに全診療科が日勤・夜勤を問わず待機者を設定し救急車の受け入れを含めた救急患者へのきめ細かい対応を実施しています。労働災害に関連した疾患は積極的に受け入れを行なっております。このように、当院救急部は 1 次から 3 次までのすべての救急患者に 24 時間対応できる体制を全病的に整えています。

救急部には CT、シネアングロ装置などの専門的な検査、診断装置が隣接しており、放射線技師、検査技師、薬剤師が 24 時間体制で配置され、検査、診断、薬剤処方等に対応しております。こうしてたくさんの救急患者を受け入れ、固いチームワークで病院をあげて救急医療に取り組んでおります。当院には救急搬送用のヘリポートが設備されており、特に当院は島嶼部からの搬送も多く、広い医療圏を有しており、遠方からの救急搬送に大きな役割を果たしております。広島県内では 2 基幹病院を除けば最も多いドクターヘリ運用数を誇っており、災害拠点病院としての役割を遂行しています。ICU 入室患者は、狭心症、心筋梗塞、大動脈破裂、脳出血、くも膜下出血、脳梗塞など脳・循環器疾患が多いのが特徴ですが、多発外傷、急性呼吸不全、脊髄損傷、薬物中毒、重症熱傷など多岐にわたっております。これらの重症疾患に対し、各科から専門医師が対応しています。

今後も地域の皆さまのニーズに応えるべく、全力で救急医療の「輪」を堅持し、地域医療を支える拠点病院としての自覚をもって救急医療に取り組んでゆきたいと考えています。

### 救急外来関連患者数

|                      | 2018 年             | 2019 年               | 2020 年               |
|----------------------|--------------------|----------------------|----------------------|
| 救急外来患者数<br>(1 日平均)   | 13,713<br>(37.6 人) | 13,437 人<br>(37.2 人) | 11,865 人<br>(32.5 人) |
| 救急車搬送件数<br>(1 日平均)   | 3,771<br>(10.3 台)  | 3,589 台<br>(10.0 台)  | 3,056 台<br>(8.4 台)   |
| 救急外来経由入院数<br>(1 日平均) | 3,924<br>(10.8 人)  | 3,868 人<br>(10.6 人)  | 3,397 人<br>(9.3 人)   |
| ICU 入室患者数            | 579 人              | 509 人                | 503 人                |
| 来院時心肺停止患者数           | 108 人              | 94 人                 | 89 人                 |



フクダ トシカツ  
氏名 福田 敏勝  
役職 外科部長  
消化器外科部長  
救急部部長

#### [専門分野]

外科一般、胃外科  
肝胆膵外科、鏡視下手術  
鼠径部・腹壁ヘルニア

#### [資格等]

医学博士  
日本外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医・指導医  
日本消化器学会消化器病専門医  
日本肝胆膵外科学会評議員  
日本肝臓学会肝臓専門医  
日本透析医学会専門医  
日本がん治療認定医機構がん  
治療認定医  
日本消化器外科学会消化器がん  
外科治療認定医  
広島大学医学部臨床教授



ナカガワ イノオ  
氏名 中川 五男  
役職 嘱託医師  
院長補佐

#### [専門分野]

内科全般  
救急集中治療

#### [資格等]

医学博士  
日本救急医学会救急専門医  
救急医学会 ICLS インストラクター  
日本 DMAT 隊員統括 DMAT  
日本麻酔学会麻酔指導医  
日本麻酔学会中国四国地方会  
代議員  
日本ペインクリニック学会  
ペインクリニック専門医  
日本ペインクリニック学会  
中国四国地方会代議員  
広島県メディカルコントロール  
協議会部会委員  
呉市災害医療コーディネーター  
呉市災害医療委員会委員  
日本職業災害医学会評議員  
広島県院内移植コーディネーター  
広島大学医学部救急科臨床教授



ギガ ヒロシ  
氏名 儀賀 普嗣  
役職 医長

#### [専門分野]

内科全般  
救急集中治療

#### [資格等]

医学博士  
日本救急医学会救急専門医



# 歯科口腔外科



コバヤシ マサシ  
氏名 小林 雅史  
役職 歯科口腔外科部長  
[専門分野]  
口腔外科、一般歯科  
[資格等]  
歯科博士

当科では常勤2名体制で、有病患者のう蝕、歯周病、義歯などの一般歯科と以下の顎・口腔外科疾患の診断、治療を行っています。

## 1. 抜歯

抗凝固剤やビスフォスフォネート製剤など薬剤服用中患者の抜歯  
埋伏智歯などの難抜歯

## 2. 顎関節症 顎関節脱臼

## 3. 炎症

下顎骨骨髓炎  
顎骨周囲膿瘍

## 4. 外傷

歯科損傷、脱臼  
顎骨骨折

## 5. 腫瘍 嚢胞

診療時間 午前： 8時30分～12時30分

午後：13時30分～16時00分

午前診療ではご紹介いただいた初診患者の診察診療、一般歯科治療、粘液嚢胞摘出などの簡単な外科小手術を行っています。

午後診療は主に地域医療連携室を通してご予約いただいた智歯抜歯などの外科小手術を初診日当日に行っています。

また火曜日の午後は入院下全身麻酔手術を行っています。

ビスフォスフォネート製剤服用中の患者さんでは事前に抗生物質を投与し、安全に抜歯を行います。



ナカタオ ヒロフミ  
氏名 中 嶋 洋 隆  
役職 医長  
[専門分野]  
口腔外科、一般歯科  
[資格等]  
歯科博士

# 検査科

## 1. 診療科の特色

検査部は総勢 28 名のスタッフにより、外来あるいは入院患者さんが正しい診断と治療を受けられるように、生化学検査、一般検査、血液検査、輸血検査、微生物検査、病理検査、生理検査など広範囲な臨床検査を実施しています。

また、採血をはじめ、脳外科術中の各種モニタリング業務、糖尿病療養指導や感染制御チーム (ICT)・栄養サポートチーム (NST) などの臨床支援・看護支援体制を確立し、チーム医療の一員として活躍しています。輸血部門においては、リスクマネジメントシステムを導入しており、血液型検査等の採血から輸血の実施まですべてバーコード管理しています。検査部は迅速かつ正確なデータの提供を確立し、他部門との円滑な連携を図り、臨床の現場に相応しい検査部の実現を目指します。平成 20 年度に始まった (社) 日本臨床衛生検査技師会による精度保証施設認証制度において当検査部も施設認証され、2 年毎に更新を続けています。これは当検査部での日々の精度管理業務、精度向上に向けた取り組みが検査データにおいて信頼性が確保されているとして認められたものです。今後も一層データの精度維持、向上に努めてまいります。



ササキ ヨシアキ  
氏名 笹 重 善 朗  
役職 嘱託医師  
検査科部長  
[専門分野]  
関節外科 (膝、肘)  
スポーツ整形  
[資格等]  
医学博士  
広島大学医学部臨床教授  
日本整形外科学会専門医・指導医  
日本リハビリテーション医学会  
専門医・指導医  
日本体育協会公認スポーツドクター  
臨床研修指導医  
日本職業災害医学会  
中部整形外科災害外科学会評議員



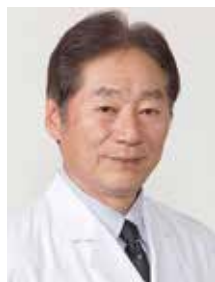
ニシダ トシヒロ  
氏名 西田 俊博  
役職 病理診断科部長  
[専門分野]  
病理組織  
細胞診検査の診断  
[資格等]  
日本病理学会認定医

## 2. 診療科の主な実績

### 令和 2 年度件数

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 一般検査 (尿・糞便検査)   | 52,015 件    |
| 血液検査            | 238,203 件   |
| 生化学検査           | 1,016,721 件 |
| 免疫検査            | 74,238 件    |
| 微生物検査           | 24,431 件    |
| 病理検査            | 10,584 件    |
| 生理検査            | 45,948 件    |
| 採血患者数 (検査技師実施分) | 14,304 件    |

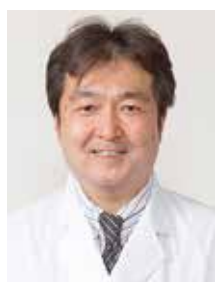
# 健康診断部



オオヤ トシタカ  
氏名 大屋 敏秀  
役職 内科部長  
健康診断部部長

[専門分野]  
消化器、肝胆膵疾患  
消化器内視鏡  
コレステロール代謝  
(動脈硬化・胆石)

[資格等]  
医学博士  
米国消化器学会メンバー  
日本消化器内視鏡学会  
専門医・指導医  
日本胆道学会指導医  
広島大学臨床教授



サエキ マサユキ  
氏名 佐伯 正弦  
役職 医長

[専門分野]  
内科、消化器内科  
脂質代謝

[資格等]  
医学博士  
日本医師会認定健康スポーツ医  
日本人間ドック学会  
専門医・指導医



ヌマタ ヨシヒロ  
氏名 沼田 義弘  
役職 医長

[専門分野]  
内科、消化器内科

[資格等]  
医学博士  
日本内科学会認定内科医  
・総合内科専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本内視鏡学会専門医  
日本肝臓学会肝臓専門医  
日本胆道学会指導医



イシイ ヒロシ  
氏名 石井 博  
役職 医師

[資格等]  
日本内科学会認定内科医  
・総合内科専門医  
日本人間ドック学会認定医  
日本リハビリテーション医学会  
認定臨床医

疾病の中には何の症状もないままに悪化していくものがあります。癌はその代表的なものと言えるでしょう。それ以外にも、気づかぬうちに疾病にかかってしまっていることもあります。こうした疾病から命や健康を守るには早期発見が最良の手段と考えられ、そのための役目を担っているのが健診です。本院健診部では、人間ドック、一般健診をはじめとして、下記に示した多様な健診を実施しており、年間約 8,000 人の方に御利用いただいております。

## 【本院健診部で受診可能な健診】

人間ドック、一般健診、乳がん検診、子宮癌検診、脳ドック、肺癌検診

職業病予防健診（騒音、電離放射線、VDT、有機溶剤、特化物、振動工具、高気圧、じん肺、石綿等）

平成 26 年から平成 30 年までの 5 年間に例にとりあげますと、本院健診部を受診された方から 109 件の癌症例が見つかり、この中で 53 例が stage I と診断されました。他院へ紹介となった 25 例については病期の情報がないため、実際の stage I 症例はもう少し多いのではないかと考えます。癌と診断された件数は決して多くはありませんが、命につながる重大な疾病であり、健診を受けることの大切さをお分かりいただけたと思います。

残念ながら、健診を受けていても存在している疾病を見つけることができないケースもあります。既存の検診方法ではスクリーニングをすり抜けてしまうのです。こうしたことが起こらないように、検査方法や組み合わせを工夫して新たな健診システムを構築していくことも、私達が取り組むべき課題であると考えます。その一環というわけではありませんが、健診部では 2018 年より低線量胸部 CT による肺癌検診を新たに開始しております。健診は行政や企業が関係するため私達だけではできないこともありますが、より良い健診ができるよう今後も取り組んでまいりたいと思います。

以上、簡単ながら本院健診部について御紹介させていただきました。健診部からは連携先の先生方に経過フォローをお願いするなど、お世話になることの方が多いと思いますが、どうかよろしく願い申し上げます。

# 治療就労両立支援センター

## 1. 当センターの特色

平成 15 年 4 月に開設された勤労者予防医療センターから行ってきた予防医療活動に加え、「病気の治療だけでなく、仕事と両立できるための医療」の大切さを考え治療と就労の両立支援を開始するため、平成 26 年 4 月から「勤労予防医療センター」を「治療就労両立支援センター」と改称し、個々の勤労者に対する予防医療活動を展開する組織から病気の治療と就労の両立支援への取組も加えた組織として新たにスタートしました。平成 30 年からは「働き方改革」の重点項目のひとつである「治療と仕事の両立支援」に産業保健総合支援センターとも協同して積極的に取り組んでいます。

## 2. センターの主な実績

### 1) 両立支援部

主に脳卒中やがんの罹患者に対し休業等からの職場復帰や治療と就労の両立支援への取組を行い、事例を集積し、医療機関向けのマニュアルの作成・普及を行っています。治療を受けながら就労を継続したい患者さんの支援においては対象疾患を問いません。

また、厚生労働省の委託で両立支援のガイドライン作成および支援を担う「両立支援コーディネーター」の養成研修やその後の関連研修などを行っています。

### 2) 予防医療部

勤労者の健康確保を図るため、過労死（脳・心疾患）、勤労女性特有の健康障害、腰痛等の発症予防及び増悪の防止に関する予防医療活動を通じて、事例の集積、集積した事例の分析・評価により効果的な予防法・指導法を開発するための調査研究を実施しています。また、職場における勤労者医療に関わる講習会などの講師派遣も行っています。



トヨタ アキヒロ  
氏名 豊田 章 宏  
役職 治療就労両立支援  
センター所長  
両立支援部長  
(脳卒中リハ分野)

[専門分野]

脳卒中  
高次脳機能リハビリテーション

[資格等]

医学博士  
社会医学会指導医  
脳卒中学会専門医  
脳神経外科学会専門医  
日本医師会認定産業医



モリヤ タカシ  
氏名 守屋 尚  
役職 消化器内科部長  
両立支援部長  
(がん分野)

[専門分野]

肝疾患  
ウイルス性肝炎、肝癌  
(RFA、TAE、動注)  
超音波診断

[資格等]

医学博士  
日本内科学会認定総合内科  
専門医・指導医  
日本肝臓学会専門医・指導医  
日本消化器病学会専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
両立支援部長(がん分野)  
広島大学臨床教授



スマタ ヨシヒロ  
氏名 沼田 義 弘  
役職 治療就労両立支援  
センター予防医療部長

[専門分野]

内科・消化器科

[資格等]

医学博士  
日本内科学会認定総合内科  
専門医・指導医  
日本消化器病学会専門医  
日本内視鏡学会専門医  
日本肝臓学会肝臓専門医  
日本胆道学会指導医





**中国労災病院 患者サポートセンター**

**〒737-0193 呉市広多賀谷1-5-1**

**TEL : 0823-74-0321**

**FAX : 0823-74-6260**

**Twitter: [https://mobile.twitter.co/chugokuh\\_kure](https://mobile.twitter.co/chugokuh_kure)**

